

# 「龍野が生んだ詩人 三木露風」

講師：たつの市立揖保川図書館長 楠田 真 様

総会議事終了後、揖保川図書館長 楠田 真様による講演会を開催いたしました。

楠田館長は、三木露風研究会のメンバーであり、露風研究の分野で大活躍されています。

いうまでもなく三木露風は、明治末から昭和中期において、近代日本を代表する象徴派詩人として、北原白秋とともに「白露時代」を築き、童謡「赤とんぼ」の作詩者として知られる、龍野が生んだ偉大な文化人です。

その声価を高めたのは、明治42年刊行の「廃園」においてであり、初々しい叙情の精神に支えられています。またフランス象徴派のボードレーヌ風の手法に、東洋的で瞑想的な詩情をもってその詩風を完成させました。その後はカトリック的な宗教味の強い詩風に変

わっていきました。このように露風の詩風が、詩人としてライバルでもあった北原白秋との論争や、時代・年齢とともに少しずつ変化していく状況を初めて知ることができました。

また龍野図書館は、露風がふるさとに図書館が必要だと説き、資金100円を寄付したことを契機に、大正11年龍野小学校の一室に簡易図書館を開設、その2年後の大正13年12月には龍野町立龍野図書館として創設されました。露風はその後も資金、経費、図書などを寄付し、龍野図書館は昨年12月に100周年を迎えました。

## ◇三木露風生誕祭

郷土の誇る三木露風の業績を幅広く知っていただくため、生誕日6月23日に一番近い日曜日の6月22日に、龍野町上霞城の三木露風生家で生誕祭が三木露風生誕祭実行委員会の主催で開催されました。

童謡や唱歌、三木露風の詩などの合唱や朗読、プロジェクターを使っての露風の若き日の説明や露風・かたクイズ、それに露風カルタの展示などさまざまな内容で、三木露風の生誕を祝いました。



三木露風  
霞城館所蔵

## お問合せ先

龍野地区のまちづくりについて、ご意見、ご質問がありましたら下記までお願いします。

龍野地区まちづくり協議会 会長 浅井 良昭 (TEL: 090-5881-1194)

副会長 武内 憲章 (TEL: 090-3896-9634)

